

千葉県障害者就業・生活支援センター 連絡協議会だより

広報紙
第 25 号

令和 5 年 3 月 31 日 発行
【発行元】
千葉県障害者就業・生活支援センター
連絡協議会 会長 藤尾 健二

障害者就業・生活支援センターにおける「基幹型」の取組とは

例年よりかなり早く「桜の便り」が届く季節になりました。令和 4 年度も終盤を迎え、いよいよラストパートです。また、令和 5 年度以降の様々な変化に対応するべく、準備を整えていかなくてはなりません。

1. 障害者雇用代行ビジネスについて

今年初めに共同通信社が発信した記事を発端に、この問題が大きく取り上げられることとなりました。当協議会としては、早くから問題意識を持ち情報共有を図ってきましたが、これまではあくまで「少数派」の意見という域をでていなかったと思います。

しかし、今回の報道は障害者雇用・就労支援の関係者に大きなハレーションを起こしており、今後もこの波は当面落ち着きそうもありません。我々としては、この機を逃すことなくより多くの方にこのことを知ってもらい、ともに考えてもらえるよう発信し続けていきたいと思っています。

2. 雇用率 2.7%を見据えた雇用支援・就労支援の必要性

今回発表された今後の雇用率の引き上げは、一部では「2.7%ショック」と呼ばれているほど大きな影響がありました。令和 6 年 4 月に 2.5%、令和 7 年 4 月に除外率の引き下げ、そして令和 8 年 7 月に 2.7%と伝えられており、企業からは「もう無理だ」「どこにそんなに働ける障害者がいるんだ」など様々な声が上がっています。これは我々支援者にとっても大きなチャレンジであると考えます。これまでの雇用支援・就労支援の枠を超えた「支援対象者像」「障害者が従事する業務」を模索しなければなりません。また、このことが上記したようなビジネスに直結するようなことが無いよう、支援において様々な提案が出来るように準備しなくてはならないと思います。

現在私たちが持っているスキルで足りない部分は、連絡協議会の「スタッフ研修」なども活用し、協議会としても担保することに努めなければなりません。

3. 障害者就業・生活支援センターにおける「基幹型」の役割について

今年度、全国就業支援ネットワークでは「定着支援地域連携モデルに係る調査事業」と題して、厚生労働省より「基幹型」の在り方を検証する事業を受託しました。人口・地域資源等が異なる 10 地域のセンターに協力をいただき、それぞれの地域における「基幹型」の在り方を検証しました。連絡協議会からも 2 センターが選ばれ、今回の事業に協力しています。

この事業のなかで見えてきた「基幹型」の役割においては、3 つのキーワードが示されました。「地域」「ネットワーク」「繋がる」です。それぞれの圏域において求められる役割は異なりますが、全ての圏域に共通していたのがこのワードです。「障害者就業・生活支援センターは地域のものであり、地域のニーズ無しには成り立たない。」設立当初から当協議会が発信し続けてきた内容です。まさに今回事業としてこのことが立証されたのではないのでしょうか。これを受けて、協議会では千葉県内のセンターにおける「地域づくり」をより活性化することに寄与すべく、情報共有・協議を図っていきたくと思います。

今後とも、当協議会にご指導・ご鞭撻いただきますよう、お願い申し上げます。

千葉県障害者就業・生活支援センター連絡協議会 会長 藤尾 健二

主任就業支援担当者・主任職場定着支援担当者研修

1月20日（金）に連絡協議会初となる主任就業支援担当者並びに主任職場定着支援担当者を対象とした研修会をホテルプラザ菜の花にて開催しました。当日は19名参加し「ナカポツセンターのマネージメント～主任の役割としてどうあるべきなのか?～」というテーマで全国就業支援ネットワーク理事の酒井京子氏にご登壇頂き、今後のナカポツセンターの動向を踏まえながら主任としての責務や考え方についてお話しを頂きました。

講義の後は、4グループに分かれ主任としての役割はどうあるべきかについて意見を交換しました。各センターで抱える悩みや課題、上司や部下から求められる主任としての役割について考えると共に、今後のより良いセンター運営に向けて語り合うことができた研修となりました。

ビック・ハート柏 八木原 直彦



センターの日常 ～ふる里学舎地域生活支援センター～

ふる里学舎地域生活支援センターでは、地域の障害のある方への就労と生活面の相談を行っています。就労支援については就職活動支援、職場定着支援。生活支援については、生活習慣の確立、福祉サービス等の説明や提案などをさせていただいています。

障害者就業・生活支援センター機能の他には、市原市基幹相談支援センター（サテライト機能）や指定計画相談事業所を併設するセンターでもあり、就業面から福祉サービスまで、ナカポツのスタッフと法人内の他相談員との連携が特徴のセンターでもあります。

運営母体である社会福祉法人佑啓会は、事業開始から30周年を迎えます。開所当時から在宅で生活されている方々への在宅支援に精一杯の注力をさせて頂いてきました。

30年前と現在とでは、障害者を取り巻く環境は大きく変わってきたと感じております。しかし、変わってはいけない事がある。法人が大切にしてきた考え方があります。

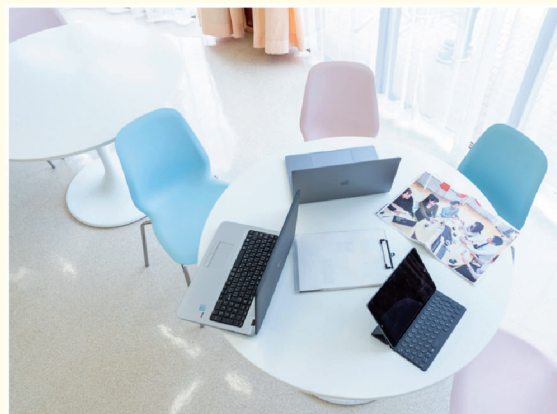
「ご本人を真ん中に」

真の意味でこの言葉を理解し、この先も追い求めていきたいと思っております。

ふる里学舎地域生活支援センター 大門 愛



支援センターの外観



支援センター内の面談室

第9回障害者就業・生活支援事業をより深く考えるための全国フォーラムに参加して

2/10(金)、2/11(土) 幕張国際研修センターにて、全国フォーラムがハイブリット形式で開催され、会場には全国から約100名の方が参加されました。

1日目は、法政大学現代福祉学部教授の眞保智子氏を講師に迎え、「障害者就業・生活支援センターを中心とする地域の就労支援体制とは」と題した基調講演がありました。障害のある労働者と企業、支援者が共通認識を持つことの重要性やそれぞれの地域におけるセンターづくりが大切であることを再認識しました。その後、グループに分かれ基幹型センターのポイントを語り合い、人口別に分かれたことで地域環境が想見しやすく、活発な意見交換となりました。

2日目は、厚生労働省職業安定局障害者雇用対策課長の小野寺徳子氏よりセンターへ期待するポイントとして、雇用施策と福祉施策の連携強化や短時間就労などの障害者雇用の今後の方向性、障害者雇用ビジネスの問題、雇用の質の向上等を挙げられました。次に、厚生労働省社会・援護局障害保健福祉部障害福祉課長補佐の日高幸哉氏より総合支援法の一部改正について、就労選択支援や一般就労中の福祉サービスの一時的な利用などのイメージをお聞きすることができました。

初めての参加でしたが、今後のセンターの在り方を学ぶことができ、また、私たちは一人ではなく、”全国にも仲間がいるんだ”と、心強く思うとともに明日への活力になりました。これから一歩ずつ地道に努めていきたいと思えます。

エール 高橋 裕



第二回スタッフ研修会 令和5年2月22日(水) ホテルプラザ菜の花

「貧困は自己責任か?～生活困窮を生み出す背景とは何か～」をテーマに、寿支援者交流会事務局長 高沢幸男氏よりご講演いただきました。

日本三大寄せ場(日雇い労働者が寄せて集まってくる場所)と言われている寿町(神奈川県横浜市中区)での生活困窮者(野宿生活者)の実状とその背景、支援活動等、データを基にお話しいただきました。

野宿生活に至った経緯は、一人ひとりに物語があること。過去を否定することなく、このような状況の中、生きぬいてきた力を評価すること。自己肯定感を高め、自分の得意なことを聞き出すことで社会参加に繋げる等、支援者としての関わり方、まずは、話を聞くことから始まることを再認識しました。また、温もりのある社会、安心・安全が担保された居場所の大切さを理解することが出来ました。

山武ブリオ 高木 由佳



パンフレット
刷新!!



連絡協議会のパンフレットをこの度、リニューアルすることとなりました。

まずは昨年度に、各センターがどのような使い方をしているかのアンケートを取りました。その結果、連絡協議会の説明よりも日常の支援時に多く使用しているということが分かり、ナカボツの説明やセンター登録後の支援の進め方についてボリュームを持たせようということで、これまで協議を進めてきました。

今までは各センター独自のパンフレットと協議会のパンフレットの両方を使いながらの対応することも多かったようですが、それをまとめて1つのパンフレットに盛り込めれば!と考え取り組みましたが、その作業は中々難しく、この度ようやく完成へとたどり着きました。

広報誌、パンフレットとリニューアルを進めてきましたので、次は…。次年度以降の活動にもぜひご期待下さい!

広報部会長 金木 隆裕

千葉県障害者就業・生活支援センター一覧

野田圏域 はーとふる
 〒278-8550 野田市鶴峯 7-1 野田市役所 1F
TEL 04-7124-0124

市川圏域 いちされん
 〒272-0023 市川市南八幡 5-17-11 (1F)
TEL 047-300-8630

船橋圏域 大久保学園
 〒274-0053 船橋市豊富町 690-13
TEL 047-457-7380

習志野圏域 あかね園
 〒275-0024 習志野市茜浜 3-4-6 京葉測量(株) 内
TEL 047-452-2718

千葉圏域 千葉障害者キャリアセンター
 〒261-0002 千葉市美浜区新港 43
TEL 043-204-2385

市原圏域 ふる里学舎地域生活支援センター
 〒290-0265 市原市今富 1110-1
TEL 0436-36-7762

君津圏域 エール
 〒292-0067 木更津市中央 1-16-12 サンライズ中央 1F
TEL 0438-42-1201

松戸圏域 ビック・ハート松戸
 〒271-0047 松戸市西馬橋幸町 117 ロザール松戸 109号室
TEL 047-343-8855

柏圏域 ビック・ハート柏
 〒277-0005 柏市柏 3-6-21 柏ビル 302
TEL 04-7168-3003

香取圏域 香取就業センター
 〒287-0101 香取市高萩 1100-2 高萩福祉センター内
TEL 0478-79-6923

印旛圏域 就職するなら明朗塾
 〒289-1115 八街市八街 244-62
TEL 043-488-5499



海匝圏域 東総就業センター
 〒289-2513 旭野中 3825
TEL 0479-60-0211

山武圏域 山武ブリオ
 〒299-3211 大網白里市細草 3215-19
TEL 0475-71-3111

長生圏域 長生ブリオ
 〒297-0012 茂原市六ツ野 2796-10
TEL 0475-44-4646

安房圏域 中里
 〒294-0231 館山市中里 291
TEL 0470-20-7188

夷隅圏域 ピア宮敷
 〒299-4504 いすみ市岬町桑田 341-1
TEL 0470-87-5201

千葉県障害者就業・生活支援センター連絡協議会 事務局 TEL 0436-36-7762 FAX 0436-26-7090

〒292-0067 市原市今富 1110-1 障害者就業・生活支援センター／ふる里学舎地域生活支援センター
 E-mail: fg.shien@yukeikai.jp URL: http://www.chiba-centernw.com/



千葉県障害者就業・生活支援センター連絡協議会



ピア宮敷 鶴岡さんのつぶやき

コロナも5月に5類になり、3月13日からはマスク着用も個人の判断に委ねられるようになります。今まで止まっていた時間が、少しずつ動きだそうとしている感じがしますね。

ナカポツセンターでこの間、苦慮していた部分も戻していけるのかなあと期待している自分がいます。前はナカポツセンターに入った経緯をつぶやきましたが、今回は「ナカポツセンターでお仕事をするようになって良かったあ」と思うことをつぶやいてみようかと思っています。

まず、第一にいろんな事業所、企業へ行くことができる。仕事を通じて訪問させていただく事業所、企業に行くのが楽しみです。(相談内容によっては緊張も凄いです) 第二にコミュニケーション力が上がる。もともとコミュ障な鶴岡ですが、センターに配属されてから多くの方とお話をする中で、傾聴姿勢や伝え方について成功と失敗を繰り返して多くを学ばせていただきました。今では苦手だった自宅にくるセールス勧誘の方とも上手く交渉をすることができるようになりました。自分の世界が広がる仕事に出会えたことにあらためて感謝です。

ピア宮敷 鶴岡 裕太

編集後記

年が明けたと思えば、あっという間に3か月が過ぎ…年明けからの3か月は特に時間の経過が早いと感じますが、令和4年度もまもなく終わろうとしております。

コロナ前の生活により近づく令和5年度になりそうだなと思いつつ、まずは満開の桜を見ながらのお花見をして、春めいてきたこの季節を感じたい！ところですが…実は私、子供の頃からの花粉症で…とっても辛い毎日を送っております。

広報部会長 金木 隆裕